



働き方改革って？

◆労働の仕組みを見直すこと

ブン子さんは最近よく目にするこの用語について、北陸経済研究所（富山市）の藤貴伸研究員に聞いてみました。

Q－どんな改革かしら。

A－制度だけでなく、企業の文化や風土も含めて働き方を変えていこうという試みだよ。安倍政権では「一億総活躍社会」の実現に向けた最大のチャレンジと位置付けているんだ。正規・非正規雇用の不合理な処遇の差や長時間労働などが問題視され、若者の貧困や女性の就労阻害、結婚しない若者の増加の原因の一つとみられているよ。

Q－具体的に何をやるの。

A－安倍首相が議長を務める働き方改革実現会議は3月に実行計画をまとめたよ。この中では、正規・非正規の格差をなくすため、同じ仕事に従事する労働者には同じ水準の賃金が支払われるべきだという考え方で「同一労働同一賃金」の実現を目指すんだ。不合理な待遇差があった場合に、労働者が是正を求めて裁判で争えるための法整備などについても議論を進めるようだよ。

このほか、罰則付きの時間外労働時間の限度を具体的に定める法改正や、女性の活躍推進、テレワークなど柔軟な働き方の環境整備、副業・兼業の推進なども掲げたんだ。

Q－県内企業の動きは。

A－YKKや三協立山をはじめ、多くの企業がノー残業デーの導入や育休制度の拡大、女性活躍の推進などに取り組んでいるよ。県は「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」を開き、機運を高めようとしているんだ。結婚や出産を機に離職した女性の再就職を支援したり、病児保育・延長保育を充実させたりもするようだよ。

Q－課題は何だろう。

A－日本の雇用の7割を担う中小企業・小規模事業者にも取り組みを広げる必要がある。ただ実際には大企業に比べて人手不足が深刻で、労働時間を減らすことは難しいようだよ。まずは働き方改革の必要性を理解してもらうこと。取り組みに向けた支援も必要になるだろうね。

